

飛鳥宗一郎会長、文部科学大臣表彰を受賞される。

霞ヶ関東京會館において、体育功労者として受賞！



▲受賞の飛鳥宗一郎氏

◀氏を囲んでの祝賀会のひととき

リタンホテルにおいて、受賞祝賀会が盛大に開催されました。受賞祝賀会は、山形県空手道連盟、山形大学拳友会、崇武館の三団体が主催者となり、約百六十名の方々が参加され、飛鳥会長の栄誉を心からお祝い致しました。飛鳥会長よりの皆様への御礼の言葉を次のとおり戴きます。したが、飛鳥会長には、今後とも健で、本県の空手道はもとより、東北及び全国の空手道の普及発展にご尽力を戴きますようお願いする次第であります。

して大臣表彰内定の通知をいただいた時、大した働きや功績もない愚生がと戸惑いましたが、県空手道連盟の将来を思い、有り難くお受けすることにいたしました。

賀の会を開催していただき誠に
有り難うございました。
ご参会の皆様には、年末で大
変ご多用中にもかかわらず、し
かも寒気段と厳しい中、かくも
大勢のお方々からご光来を賜り
衷心より感謝申し上げます。

昭和四十年十一月、山形県空手道連盟（当時は協会）を結成し初代理事長に就任、平成四年の「べにばな国体」に向けた取り組みと種目総合優勝の達成、その後は連盟組織の整備と新たな役員体制の中で、選手強化と連盟事業の遂行に携わったことなどが受賞の事由と聞きました。

たこと、心底から忸怩たる思いで一杯であります。

愚生は、山形大学空手道部で育つ一員として、好きな道を一緒に歩ませてもらひながら、県連盟結成は全国的動向から時宜に適つたものであり、崇武館の創設は地域社会に広く門戸を開く絶好の機会であつたことを考慮すれば愚生でなくとも誰しもが為せた事柄だつたと思ひます。その時々を多くの方々から導かれ、運に誘われるまま行動してきたにす
ぎません。

手道部は平成十一年に創立五十年を、崇部館は昨年創設三十周年と、それぞれ節目の年を迎えたことなど、これらの歳月は、なげなしの菲才を投じた精一杯の歩みでした。顧みれば、

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair and a mustache, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. The photo is set within a circular frame.

「御札のことば」



りません。

この業績を称えるため、昨年十二月十四日に、飛鳥会長ご夫婦を囲んで、山形市のメトロポ

この度、体育功労者として文部科学大臣表彰の受賞に際し、早速身に余る祝詞を頂戴し、その上、本日は山形県空手道連盟、山形大学拳友会、並びに崇武館各代表のお呼び掛けにより、祝

そして、県空手道連盟は平成七年に結成三十周年を、山大空手道部は平成十一年に創立五十年を、崇部館は昨年創設三十周年と、それぞれ節目の年を迎えたことなど、これらの歳月は、なげなしの菲才を投じた精一杯の歩みでした。顧みれば、

本日は、本当に有り難うございました。

平成十四年十一月十四日



▲閉会式後 選手・役員が勢揃い 本当に疲れ様でした。



▲右より、優勝した梁瀬伸裕(軽量級)、安達善也(中量級)、小座間寛人(重量級)の三選手

昨年度は山形県において、6月に東北大学総体が芸工大で、8月には東北総体が天童市スポーツセンターで、そして年が明けた1月には東北高校選抜大会が県総合体育馆で開催と、3つの東北大会が開催されました。東北大会が3つも本県で行われたのは、あまり記憶にありませんが、関係各位のご協力によって無事に終了できましたことに對し心より厚く御礼申し上げます。

その中で8月の東北総体について述べてみると、従来と大きく異なった点は、組手競技を新ルールによる初の大会として開催したこと、惜しくも第二位！

山形県は宮城県に次いで、惜しくも第二位！
団体戦の必勝・青年女子の強化が課題

とき／平成14年8月24日・25日

今年度は東北で初めての新ルールでの大会でもあり、本年度の全空連新ルール講習会に参加した者から選出致しました。また大会初日の日程を割いて、飛鳥(東北協議会議長)、工藤(山形県理事長)、岩井(青森県理事長)のスレーパーバイザーと、深瀬(山形県競技部長)、審判長らの指導を受けながら、全審判員で有効技やペナルティの処置、ゼスチャーなどを確認する審判講習会を実施して大会に臨みました。

新ルールでは、団体戦においては勝ちが決まった時点で終了することになつており、試合時間が予定より早く終了するのは良いのですが、反面一度も試合をせずに終わってしまう選手も出でてくることがあります。これは、団体戦での得点の差や青年女子の3種目での無得点と団体戦で宮城県をたたかなかつたことが、宮城県に41

技を新ルール(全空連は平成14年度4月施行)で行った最初の大会でありました。このことは、2月下旬の東北6県代表者会議で決定されたので、本県としてもその実施に向けて取り急ぎ対応致しました。その中の問題点を上げてみると、選手が着用する赤帯と青帯、副審が使用する赤旗と青旗、新組手得点板の完備であります。中でも、帯は大中小の3種類・2セット・2コード分・予備と多数用意する必要がありましたし、記録員も記録用紙への記入や得点の計算などを間違いなく行うために、新ルールを充分に理解し習得しなければなりませんでした。

また審判員については、從来通り東北各県から選出された審判員で構成しましたが、今日は東北で初めての新ルールでの大会でもあり、本年度の全空連新ルール講習会に参加した者から選出致しました。また大会初日の日程を割いて、飛鳥(東北協議会議長)、工藤(山形県理事長)、岩井(青森県理事長)のスレーパーバイザーと、深瀬(山形県競技部長)、審判長らの指導を受けながら、全審判員で有効技やペナルティの処置、ゼスチャーなどを確認する審判講習会を実施して大会に臨みました。

新ルールでは、団体戦においては勝ちが決まった時点で終了することになつており、試合時間が予定より早く終了するのには良いのですが、反面一度も試合をせずに終わってしまう選手も出でてくることがあります。これは、団体戦での得点の差や青年女子の3種目での無得点と団体戦で宮城県をたたかなかつたことが、宮城県に41



▲男子団体組手 第二位



▲女子団体組手 第三位

第35回県空手道選手権大会

▼少年男子形
④佐藤貴仁

▼少年女子形
②笛原光絵

▼少年女子団体組手
③山形県

▼少年男子団体組手
②山形県

▼成年男子団体組手
①山形県

▼総合順位
②山形県

文考大



県少年少女スポーツ交流大会空手道

▼4年生男子組手	③伊藤雅人(新庄市)
①加藤大貴(新庄市)	②高橋唯(新庄市)
②菊地斗(源武館)	③渡辺生(川西町)
③渡部暉(鶴岡和道)	④藤原(天童市)
④渡部暉(鶴岡和道)	⑤後藤遼(鶴岡市)
▼5年生男子組手	⑥伊藤玲子(新庄市)
①丸山拓真(三川町)	②本間嵩朗(大山)
②板垣真(三川町)	③渡辺悠介(和道流東南)
③小野智徳(庄野)	④板垣智徳(鶴岡和道)
④野口聰(源武館)	⑤阿部雅人(大山)
⑤板垣智徳(鶴岡和道)	⑥山口周郎(羽黒町)
▼6年生男子組手	⑦佐々木夏(安達道場双葉)
①佐々木香夏(安達道場双葉)	②大内万佑花(安達道場双葉)
②大内万佑花(安達道場双葉)	③斎藤優(安達道場双葉)
③斎藤優(安達道場双葉)	④会田穂穂(南陽市)
④会田穂穂(南陽市)	⑤竹口芽依(新庄市)
⑤竹口芽依(新庄市)	⑥大水千尋(南陽市)
⑥大水千尋(南陽市)	⑦大菅歩(大山)
⑦大菅歩(大山)	⑧大菅歩(大山)



第13回 沙二元邊拵空手道邊手櫻

▼形(小学女子6年生)	①高橋唯 ②後藤北辰小 ③清野遥(長岡中) ④伊藤（日本東小）
▼形(中学女子1年生)	①伊藤渚(日新中) ②土田ひかり(明倫中) ③高橋里美(鶴岡五中) ④佐藤瑞紀(酒田三中)
▼形(中学女子2年生)	①佐藤智里(西中) ②佐藤瑞紀(酒田三中) ③大沼智里(陵西中) ④佐藤里陵(南中)
▼形(中学女子3年生)	①佐藤綾(陵南中) ②佐藤奈緒美(中山中) ③佐藤志(新庄小) ④佐藤成(鶴岡一小)
▼形(小学男子1年生)	①田沢大志(新庄小) ②佐藤一成(鶴岡一小) ③小沢徳(鶴岡五小) ④田沢徳(沼田小)
▼形(小学男子2年生)	①土田秀治(沼田小) ②増川亮輔(米沢北部小) ③渡辺和暉(上山東小) ④田田秀成(沼田小)
▼形(小学男子3年生)	①伊藤秀平(日新小) ②渡部恭平(神町小) ③佐藤喜洋(新庄小) ④伊藤貴人(舟形小)
▼形(小学男子4年生)	①土田秀成(沼田小) ②伊藤雅人(舟形小) ③佐藤喜洋(新庄小) ④伊藤貴人(新庄小)
▼形(小学男子5年生)	①土田秀成(沼田小) ②伊藤雅人(舟形小) ③佐藤喜洋(新庄小) ④伊藤貴人(新庄小)

②①田佐	大学	中藤直秀	記(安達道場)
③佐佐	組手(般男子個人有級)	藤達磨(深瀨道場)	
③佐佐	勝(東京)	藤達磨(深瀨道場)	
②近鈴	和(安達道場)	藤達磨(深瀨道場)	
②近鈴	利和(山形大學)	藤達磨(深瀨道場)	
③木山	和(山形大學)	藤達磨(深瀨道場)	
③木山	伸也(崇武館本部)	藤達磨(深瀨道場)	
①高橋	正和(山形大學)	藤達磨(深瀨道場)	
①高橋	吉將(東海大山形)	藤達磨(深瀨道場)	
②後藤	橋(東海大山形)	藤達磨(深瀨道場)	
③後藤	吉(東海大山形)	藤達磨(深瀨道場)	
③後藤	幸(東海大山形)	藤達磨(深瀨道場)	
②伊佐	木(東海大山形)	藤達磨(深瀨道場)	
②伊佐	竹(東海大山形)	藤達磨(深瀨道場)	
①伊伊	橋(東海大山形)	藤達磨(深瀨道場)	
①伊伊	藤(崇武館本部)	藤達磨(深瀨道場)	
②井関	藤(崇武館本部)	藤達磨(深瀨道場)	
②井関	里佳(天童高校)	藤達磨(深瀨道場)	
上東	直紀(東海大山形)	藤達磨(深瀨道場)	
真由美(南陽高校)	直紀(東海大山形)	藤達磨(深瀨道場)	
組手(一般高校女子)	直紀(東海大山形)	藤達磨(深瀨道場)	

◎平成14年10月6日

○天童高校体育馆

▼男子総合

①新庄市空手道スポーツ少年団

②大山空手道スポーツ少年団

▼女子総合

①新庄市空手道スポーツ少年団

②安達道場双葉スポーツ少年団

▼男子団体形

①大山空手道スポーツ少年団

②新庄市空手道スポーツ少年団A

③新庄市空手道スポーツ少年団B

▼女子団体形

①新庄市空手道スポーツ少年団

②大江町空手道スポーツ少年団

③米沢市空手道スポーツ少年団A

▼男子個人形

①土田秀成(新庄市)

②五十嵐直央(鶴岡市)

形(小学女子1年生)	①佐々木	②小林	③伊藤	④林末
(小学女子2年生)	希恵(南部保育所)	佑(沼田小)	藤井	梢(沼田小)
清	江利子(本郷東小)	江利子	江利子	江利子
野	玲(瀧山小)	玲(瀧山小)	玲(瀧山小)	玲(瀧山小)
豊	後(瀧山小)	後(瀧山小)	後(瀧山小)	後(瀧山小)
榮	ちづる(長岡小)	ちづる(長岡小)	ちづる(長岡小)	ちづる(長岡小)
形(小学女子3年生)	坂上	坂上	坂上	坂上
分	愛(堀内小)	愛(堀内小)	愛(堀内小)	愛(堀内小)
円	香(新庄小)	香(新庄小)	香(新庄小)	香(新庄小)
海老名裕美(新庄小)	海老名裕美(新庄小)	海老名裕美(新庄小)	海老名裕美(新庄小)	海老名裕美(新庄小)
形(小学女子4年生)	佐々木梓(沼田小)	佐々木梓(沼田小)	佐々木梓(沼田小)	佐々木梓(沼田小)
荒川聰実(新庄小)	荒川聰実(新庄小)	荒川聰実(新庄小)	荒川聰実(新庄小)	荒川聰実(新庄小)
阿部有希(小田島小)	阿部有希(小田島小)	阿部有希(小田島小)	阿部有希(小田島小)	阿部有希(小田島小)
形(小学女子5年生)	藤佳奈(新庄小)	藤佳奈(新庄小)	藤佳奈(新庄小)	藤佳奈(新庄小)
国井華(高松小)	国井華(高松小)	国井華(高松小)	国井華(高松小)	国井華(高松小)
細谷桜子(鎌川小)	細谷桜子(鎌川小)	細谷桜子(鎌川小)	細谷桜子(鎌川小)	細谷桜子(鎌川小)

A black and white photograph of a young boy in a karate gi performing a side kick. He is in the foreground, facing right. In the background, other children in karate gis are sitting on the floor, and a banner hangs from the ceiling.

①伊藤ひかり(明倫中)	②土田田	③大瀧陽子(鶴岡五中)	④大瀧陽子(白鷗東中)
③仙台充(本台海小)	②伊藤後秀(日新小)	③佐藤有里香(八幡中)	②佐藤綾(陵南中)
③鈴木哉(長井小)	①豊木開功(小学男子3年生)	③佐藤奈緒美(中山中)	①鈴木幸恵(白鷗東中)
③佐藤功(本台海小)	▼組手(小学男子3年生)	③川藤瑞紀(酒田三中)	③佐藤中澤(鶴岡二中)
③佐藤功(本台海小)	▼組手(中学女子3年生)	③川藤瑞紀(酒田三中)	②大沼智里(陵西中)
③佐藤功(本台海小)	▼組手(中学女子2年生)	③川藤瑞紀(酒田三中)	①渋谷季(川西二中)
③佐藤功(本台海小)	▼組手(中学女子1年生)	③川藤瑞紀(酒田三中)	①伊藤藤渚(日新中)

▼少年女子形	笛原光絵8位
▼成年男子形	重野誠司予選敗退
▼少年女子組手個人	関東里佳5位
▼少年男子組手個人	高橋吉将2回戦敗退
▼成年女子組手個人	伊藤茜1回戦敗退
▼成年男子組手(軽量級)	梁瀬伸祐2回戦敗退
▼成年男子組手(中量級)	安達善成3回戦敗退
▼成年男子組手(重量級)	小座間寛人1回戦敗退
▼成年男子組手団体戦	山形県3回戦敗退
▼総合順位	山形県29位

元空手 あれ談話（六）

山形県空手道連盟会長

飛鳥宗一郎

船越義珍の空手道二十ヶ条（その一）



▲書斎の船越義珍

富名腰義珍（一八七六年九月七日、後に船越と改姓。文中、船越と記します）は、沖縄県那覇市に生まれ、安里安恒、糸洲安恒の二人から空手を学びました。大正十一年（一九二二年）五月東京都で開催された文部省主催「第一回体育展覽」で、船越が形「クーサンマー」を演武し、これが本土における最初の空手道公式紹介となりました。

その後、講道館（柔道）館長の嘉納五郎に望まれて東京に止まり空手の指導を開始、昭和十三年東京・雑司ヶ谷に「松

空手道」限らず、「礼」に終わります。古くは「人間と獸（けだもの）の違いは礼にある」と言われ、礼のない者は

「はじめり、礼に終わる。」べきだと思います。古くは「人間と獸（けだもの）の違いは礼に

「礼」は外見や格好でない内への問題と考えてください。

この言葉は「空手に構えなし」

の強さは獣の強さと同じだとされました。私は他人に対しては尊敬の表明であり、そして自重の心があります。人と接する時、相手を敬う気持ちがあれば形式でない本当の礼になるのです。

試合でも心から「礼」を交わす。試合とは「試し合い」だから、相手に対する敬意と感謝の気持は当然で、きまりやルールを守り粗暴な振る舞いのないことを誓約するのです。

道場には神棚がある場合が多い。それは道場の神前を正面と定め、道場は神聖にして厳粛な所であるから、威儀を正して礼を行います。礼によつて道場に集まる仲間との友情は一層深まり、練習効果は倍増するのです。

空手の良さを理解し、一層練習に励み、周囲の人達に良い影響をもたらすことができるなら、空手は「義の補け」となるのです。

「礼」は外見や格好でない内への問題と考えてください。技術が伴わないで、鍛錬もしないで、心術だけで成り立たないことは誰でも理解できます。朝夕鍛錬して励むうちに様々な心術も生まれるのかかもしれない。ちなみに、鍛錬と

『空手に奥義なし』とともにになります。

武士が刀を携えていた時代、「剣はみだりに抜くべきでない。忍べる限り忍んで、どうしても忍べない事態になつたとき、はじめて刃は鞘走る。」とされたのです。空手では、鍛錬された手足は武器と同じ働きをしますから、剣の道と同様に考えて当然です。

武士が刀を携えていた時代、「剣はみだりに抜くべきでない。忍べる限り忍んで、どうしても忍べない事態になつたとき、はじめて刃は鞘走る。』とされたのです。空手では、鍛錬された手足は武器と同じ働きをしますから、剣の道と同様に考えて当然です。

練習を重ね、強い精神力と身体を持つていないと不可能なことです。だから鍛錬に励めと教えていきます。

なお練習や試合で、先手先手と攻撃するのは、技術を高めようとする、自助努力の戦術的手段なのです。

第三条 空手は義の補け

義とは正義のことです。人間は正義を貫こうとするとき最も強くなれると言います。古くから「義を見こせざるは勇きなり」（論語・政）とか、「仁は人の心にして、義は人の路なり」（孟子・告子）と教えられております。

日本人には、義理人情を大切にする美風があつて、国民性の特質と言われました。しかし、最初に正義がなければ、義理も人情もありません。常に正しい道を歩み不正があれば改めさせる、勇気をもつて行動する」ことが大切なのです。

私は、「勵んで強くなれ。強くなければなるほど、優しくないわりの心を持て。」と教えております。

空手の良さを理解し、一層練習に励み、周囲の人達に良い影響をもたらすことができるなら、空手は「義の補け」となるのです。

和道会流開祖の大塚博紀（

八九二～一九八〇）の歌に、「武

の道はただあら事とな思ひそ

和の道究め和を求む道」とあ

ります。「正義」と「平和」とは同義一体と言つてよいのです。

第四条 先ず自己を知れ

而して他を知れ

この言葉は「孫子の兵法」の第三篇「謀攻」の中にあります。この兵法書は、中国の春秋時代（紀元前五世紀）、吳の軍師である孫武によって書き著されました。十三篇からなる簡潔な文章で、中国は勿論我が国でも、軍事学の古典として重宝されてきました。武田信玄の軍旗「風林火山」は、第七篇「軍争」を典拠としているのは有名な話です。

第三篇「謀攻」は、「おおよ

そ用兵の法は、自國を全くす

るのを上とし、敵国を破るの

を次とする。」からはじまり、「彼を知り「己」を知れば自國危からず、彼を知らない「己」を知れば

勝負す、彼を知らず「己」を知らざれば戦う毎に必ず敗じ。」で

終る。

自分の長所短所をよく自覚し、

相手の力量も知つたうえで練

習や試合に臨む。言つてしま

えば極めて簡単だが、現実に

はなかなか容易でない。自分

自身を本当に知ることで、自

惚れに「己」が眩むことのないよう、

戒めとしなければならない。

第五条 技術より心術

技術が伴わないで、鍛錬もしないで、心術だけで成り立たないことは誰でも理解できます。朝夕鍛錬して励むうち

に様々な心術も生まれるのか

もしれない。ちなみに、鍛錬と

は「千日」の稽古を鍛錬とし、万日



▲慶應大学での稽古（前列中央が義珍。昭和5年頃）



▲門人たちの稽古風景

の稽古を練じる。」(宮本武蔵、五輪書)と言つことだ。大相撲史上、不滅の六十九連勝記録を打ち立てた不世出の横綱・双葉山(一九二一~六八)でさえ、心の置き所に悩んだ人でした。彼は、年間二場所だけた当事三年間負けなかつたのです。その連勝中に修禅(坐禪)の老師から、中国の莊子の「外篇」に出てくる「木鶴(もつけい)」の話を聽かされました。それは鬪鶴が好きな王が家来に自分の鶴を訓練させる。やや日数も過ぎて、家来は「訓練はできました。この鶴は何事にも決して動じない、まるで木で作った鶴のようになつています。この鶴の前からはどの鶴も逃げ立たぬでしょ。」と、無敵双葉山も、七十連勝を

第六条 心は放たん事を要す
この言葉は、忍康節(一〇二七七、中国の宋代の哲学者)の言葉で、澤庵宗彭(一五七三~一六四五、沢庵和尚のこと)が柳生但馬守(徳川将軍家剣)

目前に新鋭・安芸の海に敗れます。その夜、老師に送つた電報が「コレイマダ、モッケイタリエス」で、時に昭和十四年一月場所四回目がありました。幼少の私は、双葉山敗戦の場内騒然怒濤のような喚声に搔き消されたのでした。

心術とは、「心胆鍊磨」ばかりでなく、人間としてのあり様に関わるもので、単なる作戦や戦略の工夫術と読んではなりません。

不自由な」とです。(筆者翻訳)また、殿様ながら新陰流の達人だった尾張一代藩主の徳川光友に次の歌があります。

第七条 神は懈怠に生ず

「なまけ怠る」「なむぞりにする」「つい加減に扱う」などが懈怠の意味です。気の緩みや不注意は、何時、何処からでも忍び寄ると心得なければなりません。

しきじりをするとき、「何かやりそつだ…。」と瞬早く察知しながら失敗する」とある。そんな時、既に体勢や心理状態に欠陥が生じているのかも知れません。欠陥や不注意も懈怠のせいだと考へれば、日常生活の中にも、自分で気付かない落とし穴が沢山存在するのです。

第九条 空手の修行は一生である

「空手に奥義なし」と第二条で述べました。また、大塚博士は「武の道は、宇宙の如く無限にて、技に極致はなきものと知れ」と言つておられます。空手道に限らず芸事も武道もこれまで究極ということはあります。

日々鍛錬と言つながら、自分の決意(おり)に行動できない日が多く、空手衣を着るのが増えたとされる「不動智神妙録」から引用したもので、その中で、

【忍康節】云う者は、心は放たん事を要すと申しました。

物に心が染まつてしまふのを嫌つて、心が染まるな我が身に返つて」と云うのは初心者の考え方で、そうでなく蓮が泥の中にあつても染まらないように、水晶の玉が泥の中に落ちても染まらないように、全然気にしないで心も行きたいところへ自由に行かせなさい。

心を常に引き止めておくのは不自由な」とです。

【柳生但馬守】放つ矢先は知らぬなりけり』

【張れや張れただゆるみなき梓弓放つ矢先は知らぬなりけり】

【なまけ怠る】「なむぞりにする」「つい加減に扱う」などのが懈怠の意味です。気の緩みや不注意は、何時、何処からでも忍び寄ると心得なければなりません。

【しきじりをするとき、「何かやりそつだ…。」と瞬早く察知しながら失敗する」とある。そんな時、既に体勢や心理状態に欠陥が生じているのかも知れません。欠陥や不注意も懈怠のせいだと考へれば、日常生活の中にも、自分で気付かない落とし穴が沢山存在するのです。

第八条 道場のみの空手と思

空手道修行の目的は、心身の修養鍛磨にあります。道場とは元来、仏教用語で、学問や仏道修行する場所を言います。

武道は技術だけでなく、人格形成の道へと導くのを目的とし、道場はその場所なのです。道場で得たものを、全生活にまで延長しなければなりません。端正な立ち居振る舞い、礼儀、正義感、謙讓、忍耐、向上心、長幼の序など、どれを取つても道場だけの問題ではなくさうです。尽きない求道の楽しみがあるので。

最近の選手は、試合日程に追われ「巻藁」練習も筋骨トレーーニングも少なづつですが、本来の空手は身体のあらゆる箇所を鍛錬し武器化することされました。しかし、その精神をもつて立ち向かえば、今まで氣付かない部分も見えてくるに違ひないと想うのです。自分の全時間は空手と関連させて考えるのはどうだろうか。歩く、坐る、走る、跳ぶ、重きものを持つ、巻藁を突く、鏡の前に立つ、「にらめつ」など。あらゆる場面を空手と結合させ、思念工夫を凝らしてみるとひと味あるかもしない。

身に何も付けない、何も持たない、いわゆる徒手空拳が空手の原点です。空手が好きで好きで練習している愛好者の皆さんには、長く続けられる空手道を目指して、日常茶飯事を空手道と密着させて考え、生活するのには、容易なことだと思つのです。

いわゆる、生涯武道を目指す道と仲良しになること。

そこに妙味もあるだろうと思うのです。

(次回に続く)



▲棍(こん)の指導をする船越義珍

【棍(こん)】の指導をする船越義珍

山形大学空手道部

昭和24年発足。県連最古参の老舗道場 登場！ 東北唯一の第一回全日本学生選手権出場以来、数多くの選手を輩出。



▲主将・小塚君（前列左から2人目）を中心に海外研修生と共に。

ただ単なる古いだけではなく、
今回全日本学生選手権大会(東
京都)に東北唯一の出場校と成
つて以来、数々の功績を残し
てきました。空手が日本発の
文化であるならば、まさに山
形大学空手道部は先輩から後
輩へと五十年余りもの間受け
継がれた文化であると言えます。
文化は欠点のは正が何度も繰
り返され、いいところ残しきを
繰り返した結果なのです。

また先日、文部科学大臣表
彰を受賞されました。飛島宗
郎氏をはじめ数々の選手及び、
指導者を生み出してきました。
近年の大学は、スポーツ空手
が主で、空手の指導者育成を
目指している大学空手部は少
ないといわれます。その中で

私たちが今回伺いました、山形太宰芋手道部は、昭和24年、教育基本法改正で旧山形高等学校から新制山形大学と生まれ変わつて以来五十余年の歴史を持つ道場です。山形県空手道連盟で一番古い道場といえます。

山大空手道部は山形県空手道連盟に在籍している役員の方及び指導者先生方を数多く輩出してきました。それに加えて、他の道場と違つて、全国各県から集まってきた部員が卒業すれば各県に戻つて選手・指導者となります。それだけ空手道部としての底辺が全国に広がるわけです。

額から流れ出る汗を道衣の袖で何度も拭つて、気迫と氣迫のぶつかり合いでした。その為道衣は黄ばんだり、襟が破けたり、昔ながらのバンカラを思わせました。

山大空手道部は山形県空手道連盟に在籍されている役員の方、及び指導者先生方を数多く輩出してきました。

それに加えて、他の道場と違うところは、全国各県から集まってきた部員が卒業すれば各県に戻って選手、指導者となります。それだけ空手道部としての底辺が全国に広がるわけです。

さて、私たちが伺った時は、空手道部全員が各自向かい合つて打込みみ練習の真っ最中でした。

額から流れ出る汗を道衣の袖で何度も拭つて気迫と気迫のぶつかり合いでした。その為道衣は黄ばんだり、襟が破けたり、昔ながらのバンカラを思わせました。

主将、小塚君より練習内容

活動としては、各試合の他年に一回の鼠ヶ関での各学部との合同合宿、これには、卒業生を説明して頂きました。技の正確さと強さを養う為にその場基本と移動基本を四十五分位みつちりとやります。次に、一人打込み、更に、一回三分を何回も繰り返すリラックスフリー（自分の技を確かめながら、多くの技を繰り出す）最後にシヤドウ空手と並行して“試合形式の組手”と続いていきます。

ここで、他の道場では見られない練習方法を紹介してもらいました。それは、一人に対し、他の全員が少し離れて体面になつて移動して攻撃していく事です。但し顔面を手のひらが横切る間に、人中を何回空けるか正確な突きと、スピードを養うための練習方法とのことです。

トを養い、ための練習方法との
いところ。

- 「人格の向上に努むること」。
- 「禮儀を重んずること」。
- 「練磨に励むこと」。

された先輩方も多数参加されたことです。最後に、部のモットーともいえる部訓を紹介したいとおもいます。



▲対面者の人中を、速く、確実に突く！



やまがた空手MAP

PART
2

山形県空手道連盟/道場紹介

県内にはたくさんの仲間が空手道を武道・スポーツとして楽しんでいます。空手マップパート2では、県連に加盟する各地区の道場を紹介していきます。



鶴岡市・荘空館空手道場



- 流派/和道流
- 師範/中村秀男
- 設立/1979年
6月3日設立
- 道場生/約36名

「強い選手を育てたい」という目標の基に24年前道場を設立。「心・技・体」の鍛錬を重視し、練習を重ね多くの大会に参加してきました。設立当初からの「心」を鍛える行事として羽黒山での暑中稽古、湯の浜海岸での寒中稽古を現在も実施しています。道場の指導方針としては、空手道における「心」の重要性をいかに伝えるかにあります。特に入門時重視するのが挨拶と礼。また練習に取り組む姿勢、集中力、真剣さ等、常に「心」の置き方を高い位置に持てる様指導しています。現在の自分の技術レベルに満足することなく向上心を持って常に努力すること。それが「心」の鍛錬に繋がります。今後の方向性としては、「総合型地域スポーツクラブ」の1つとして活動。その中で武道としての「心」を伝えながら1人1人の個性に合わせた指導方法を模索・実践して参ります。

練習日／毎週金曜日 午後7時～8時30分
鶴岡市山王町8-10 荘空館空手道場
TEL/0235-24-2757

新庄市・崇武館新庄支部



- 流派/和道会
 - 師範/飛鳥宗一郎
 - 設立/1982年4月1日
 - 道場生/約70名
- ※写真は武田政夫支部長

道場は、新庄市の中心に位置する「勤労福祉センター」を借用し、大変恵まれた環境の中、県北の最上、新庄一圏から小、中、高生、一般が集い稽古をしています。飛鳥師範の出身地であるこの地に設立して今年20周年を迎える事になりました。20年の歴史は、設立当時小学生の門下生が、高校、大学で空手を続け現在では、道場の指導者として活躍してくれる循環ができる様になりました。

指導方針は、崇武館「道場訓」の実践です。

- 一、人格の向上に努める事
- 一、礼節を守ること
- 一、鍛錬に励み果敢なる精神を養うこと
- 一、信義を重んずる事

練習日／毎週火・土曜日 午後6時～9時30分
勤労福祉センター
連絡先/0233-23-0321

山辺町・松涛館流 山辺支部



- 流派/松涛館流
- 師範/石島由拡
- 設立/1982年
- 道場生/約31名

高校時代、日本空手協会に入門。その後、国際松涛館を経て昭和62年に松涛館流山辺支部として活動を開始。練習内容は、二時間の練習時間の内、一時間位をドッジボール・サッカー・フットベースボールなどの運動に充てています。子供たちと一緒に運動をすることにより、全体のコミュニケーションが良くなり、子供たちの空手とは違った運動能力や性格を見て取れるからです。運動の後、「始めます!」を合図に整列し空手の稽古が始まります。道場の方針は「やる時は、やる!」子供たちは、切り替え良く集中して空手に取り組んでいます。

私自身、生涯空手道を目指し道場生の前に立って、背中を見せて練習出来るよう頑張っていきます。

練習日／毎週火・木曜日
山辺総合体育館トレーニングルーム
連絡先/023-664-6228

指導者講習会 及び 公認段審査会



平成十四年十一月一日(日)
県総合運動公園剣道場において
指導者講習会が開催。

これまで指導者講習会は指
定形をやつきましたが、一通
り終了したため、今回は天童

高校の横田和浩先生を講師に
迎え、「効果的なトレーニング
方法について」実施していました
だきました。内容は、受講され
た星川紀一郎さんの感想文に
ある通りですが、非常に理論
的で、誰でも取り組みやすく、
受講者からは、実戦に役立
ることがいると大変好評で
しました。

今年度の公認段位合格者と
び審判員の合格者は次の通り
です。今後層のご精進を期待
致します。

四段の部

一般の部
重野誠司(長井空手道連盟)
横田和浩(天童高校)

初段の部

少年の部
水口歩子(莊内空心会)
渋谷宗一郎(莊内空心会)
浅野允玲(莊内空心会)
阿部優樹(莊内空心会)
本間高朗(莊内空心会)

吉村和夫(山形市長)
は、昭和51年4月より27年間、
県連組織の充実、事業運営に
多大な貢献をいただきました。

また、吉村氏は、山形市長と
して市職員採用についてスポ
ーツ等芸に秀でた人の採用二
芸枠」を創設して、学力のみな
らずスポーツや芸術など幅広
い能力と実績を持つ若人を積
極的に市政に参加させること
を決定。

平成15年度は、本連盟関係
では、安達善也君(日本大学)
の合格が内定しています。

県連盟として、両氏の多大
な貢献に謝意を表するため、
去る12月吉日、飛鳥宗一郎会長
より両氏に感謝状を贈呈いた
しました。両氏には、(財)全日本
空手道連盟より名誉五段位が
贈呈される予定です。



参段の部

一般の部
山口敦子(莊内空心会)
高橋明美(莊内空心会)
安達善也(安達道場)

少年の部
佐藤 梓(莊内空心会)
佐藤 勝(県庁)

一般の部
水口歩子(莊内空心会)
渋谷宗一郎(莊内空心会)
浅野允玲(莊内空心会)
阿部優樹(莊内空心会)
本間高朗(莊内空心会)

少年の部
菅原芽衣(莊内空心会)
伊藤渚(崇武館新庄支部)
加藤葵(崇武館新庄支部)
加藤修太郎(崇武館新庄支部)
伊藤諒人(崇武館新庄支部)
土田秀元(崇武館新庄支部)
土田ひかり(崇武館新庄支部)
伊藤謙(崇武館新庄支部)
土田秀興(崇武館新庄支部)

一般の部
横山恵美(南陽高校)
井上真由美(南陽高校)
佐竹良江(南陽高校)
佐藤巧(南陽高校)

高橋和雄氏は勇退まで16年間。
吉村和夫氏には27年間の永き
に亘り、県連发展のために多
くのご尽力を頂きました。
心より感謝申し上げます。

**講習会の質的高さ、充実ぶりに
目からウロコ**

科学的トレーニングの質の高さに目から鱗の
落ちる思い。自分の弱点・課題を発見する事が
出来ました。



る気持ちで参加させて頂きま
した。

講習会は、その内容が素晴
らしく、期待以上がありました。

前述のジョギング、最下段の
基礎体力、その中の柔軟性
トレーニングでは、腰を下ろし
盤を入れるのだとアドバイ
ス等でした。それから下から

星園館

星川紀一郎

満五十三歳となり、今年は、
春からどうも足首が痛い。こ
のまま、自分の体が稽古に耐
えられなくなるのではなく、心配
していた矢先の指導者講習会
でもあり時期的にもうれしく、
内容的にも、目から鱗の落ち
る思いのする素晴らしいもの
でした。

講師をお努め頂いた横田先
生からは、かつて私が小学校
で担任していた教え子が現在、
天童高校に在学中で、空手道
部に入部し、指導を受けてい
ます。その子は小柄な女子な
がら、組手試合、スピードを
生かした良い動きをしていま
す。その子は、かっこいい子で、
かっこいい子がいるんだよ。
それで、どんな指導を受け
たのだろうかと大変興味を持
っていました。だから、初心に還
っていました。

高橋前会長、吉村前
副会長に感謝状、
名誉五段位贈呈。

吉村和夫(山形市長)
は、昭和51年4月より27年間、
県連組織の充実、事業運営に
多大な貢献をいただきました。
吉村和夫副会長(山形市長)
は、昭和62年1月第二代会長
板垣清一郎県知事が国体対策
のため勇退された後を引き継
ぎ第三代会長に就任し、勇退
まで16年間、県空手道連盟会
長として、平成4年の「べにば
な」国体の空手道競技の万全
の運営と史上最高得点を実現
するなど、本連盟の発展に多大
なご貢献をいただきました。

吉村和夫副会長(山形市長)
は、昭和51年4月より27年間、
県連組織の充実、事業運営に
多大な貢献をいただきました。
また、吉村氏は、山形市長と
して市職員採用についてスポ
ーツ等芸に秀でた人の採用二
芸枠」を創設して、学力のみな
らずスポーツや芸術など幅広
い能力と実績を持つ若人を積
極的に市政に参加させること
を決定。

平成15年度は、本連盟関係
では、安達善也君(日本大学)
の合格が内定しています。

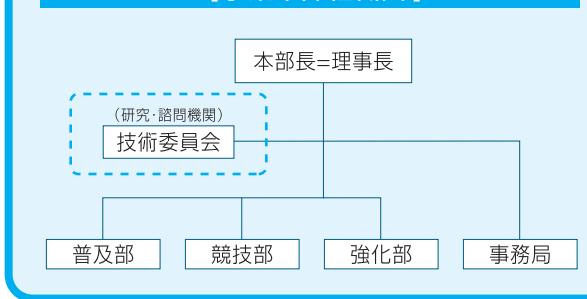
県連盟として、両氏の多大
な貢献に謝意を表するため、
去る12月吉日、飛鳥宗一郎会長
より両氏に感謝状を贈呈いた
しました。両氏には、(財)全日本
空手道連盟より名誉五段位が
贈呈される予定です。

吉村和夫(山形市長)
は、昭和51年4月より27年間、
県連組織の充実、事業運営に
多大な貢献をいただきました。
吉村和夫副会長(山形市長)
は、昭和62年1月第二代会長
板垣清一郎県知事が国体対策
のため勇退された後を引き継
ぎ第三代会長に就任し、勇退
まで16年間、県空手道連盟会
長として、平成4年の「べにば
な」国体の空手道競技の万全
の運営と史上最高得点を実現
するなど、本連盟の発展に多大
なご貢献をいただきました。

吉村和夫(山形市長)
は、昭和51年4月より27年間、
県連組織の充実、事業運営に
多大な貢献をいただきました。
また、吉村氏は、山形市長と
して市職員採用についてスポ
ーツ等芸に秀でた人の採用二
芸枠」を創設して、学力のみな
らずスポーツや芸術など幅広
い能力と実績を持つ若人を積
極的に市政に参加させること
を決定。

平成15年度は、本連盟関係
では、安達善也君(日本大学)
の合格が内定しています。

【事業本部組織図】



前年度、選手強化を目標に、
研究や情報収集・提供を担当
する研究・諮問機関として技
術委員会が設定されました。

この技術委員会の委員長に
は田鎖光男副会長が兼務され、
顧問として飛鳥会長、工藤副
会長があります。更に専門
部との連携を密にし各部の事
業に反映させるとの目的から、
副理事長・専門部長・部員がそ
れぞれ委員として担当します。

本年度の事業内容としては、
副理事長・専門部長・部員がそ
れぞれ委員として担当します。

前年度、選手強化を目標に、
競技・審判・指導技術に関する
研究や情報収集・提供を担当
する研究・諮問機関として技
術委員会が設定されました。

「空手を科学する」技術委員会本格始動!

昨年実施した技術アンケート
を受けて「メンタルトレーニン
グの理論と実践」「スポーツ
心理学」「スポーツビジョン」
等の心の強化。各種専門資料
VTRなどの収集整備。効果
的なトレーニングの手法などを、
ジニアから高校・一般まで幅
広い層に、より具体的に紹介
して参ります。今後の活動に
ご期待ください。

● 各専門部の本年度事業内容は
以下の通りとなります。

3月23日・24日
糸東会理事 大出敏夫氏
を講師にお迎えします。
③ジュニア少年・一般選手
化練習・県外遠征の実施
強

競技部

①審判員養成事業
・4月12日・13日
県審判員 協議会・講習会

・4月26日・27日
全国県審判員講習会

②県連主催事業・各種大会実
行委員会への参加・協力

大会実行委員会参加・審判
員参加要請及び競技運営
③競技審判用具購入及び維
持管理

④全空連競技規定・審判規定
の領布

⑤県内各地区毎に開催される
審判講習会への指導・協力

⑥監督腕章の配布

⑦全空連公認資格取得の促進、
公認3・4・5段位取得の促進、
審判講習会への参加

⑧県連主催強化練習への参加

⑨全空連公認資格者名簿の整
理及び名簿の作成・配布

⑩国体・東北総体への参加・審
判員・役員・コーチの派遣

⑪県内大会における申し合
せ事項の検討

⑫全日本選手権への派遣

※重点項目のみ抜粋いたしま
す。

平成15年度

山形県空手道連盟総会開催

とき／平成15年2月11日(火)
といひ／山形県あこや会館

県連の平成14年度事業報告と新年度の活動内容を審議する総会が開催され、県内より理事47名が参加し活発な意見が交わされました。

組手競技新ルール導入

大会によってポイント数が
大きく変わります。

大会名	旧ルール	新ルール
・社会人	3本 6P	8P 先取
・ジュニア	2本 4P	6P 先取
・ジュニア選抜	2本 4P	6P 先取
・国体予選	3本 6P	8P 差
・県選手権(全日本予選)	3本 6P	8P 差
・県選手権(他)	3本 6P	8P 先取
・少年少女交流	2本 4P	6P 先取
・全国小学生予選	2本 4P	大会要項に準ず
・全国中学生予選	2本 4P	大会要項に準ず

競技部からは、新ルール
に基づくポイント並びに帶
の色や安全具についての変
更申し合わせが行われま
した。各大会でポイント数
が違うので十分認知して
下さい。特に全日本予選を
兼ねた、県選手権ではAク
ラスのみ 素面・赤・青グ
ローブ・赤・青帯を使用し
て行われます。尚、大会ル
ールについては、そのつど
事前に大会要項にてお知
らせします。



▲素面、赤・青(グローブ・帯)で県選手権(Aクラス)は行われる。



平成15年度事業・行事計画

日 程	事 業・行 事	場 所
2月 4日	県連会計監査	県あこや会館
2月 11日	平成15年度県空手道連盟総会	県あこや会館
2月 15日 ～16日	県連事業指導者講習会 講師/前田利明氏 (ナショナルチーム監督)	山形市スポーツセンター
2月 22日	東北地区協議会代表者会議	仙台市
2月 22日 ～23日	ジュニア強化練習会 秋田県チーム 2会場	新庄市勤労者福祉センター
		天童市スポーツセンター
3月 15日	公認4・5段審査会及び公認地区組手審判審査会	仙台武道館
3月 16日	公認地区形審判審査会	仙台武道館
3月 15日 ～16日	ジュニア強化研修会 講師/大出敏夫氏 (糸東会理事)	未定
3月 26日 ～27日	全国高校選抜大会	日本武道館
4月 12日	審判員協議会総会	山形市黒沢温泉
4月 13日	県審判員講習会・公認段位審査会(初段～三段)	山形市スポーツセンター
4月 20日	第2回東北学生個人選手権大会	大河原町総合体育館
4月 26日	全国組手審判員講習会	東京都郵政体育館
4月 27日	同上	
5月 10日	村山地区高校総体	東海大学山形高校
5月 11日	第6回東北中学校選手権大会	宮城県武道館
5月 11日	第32回社会人大会	県武道館
5月 25日	山形市大会	山形市スポーツセンター
6月 7日	県高校総体	山形市スポーツセンター
6月 8日	全日本小学生・全国中学生大会山形県予選会	県総合運動公園サブ
6月 22日	東北大学総体	秋田県
6月 28日 ～29日	東北高校総体	秋田県若美町
7月 13日	第21回県ジュニア選手権大会	県総合運動公園アリーナ
7月 20日	国体・東北総体県予選会	県総合運動公園
8月 2日	全日本少年武道錬成会	日本武道館

日 稲	事 業・行 事	場 所
8月 3日	第3回全日本少年少女選手権大会	東京武道館
8月 5日 ～ 7日	全国高校総体	長崎県佐世保
8月 8日 ～10日	第11回全国中学生空手道選手権大会	北海道道立総合体育センター
8月 23日 ～24日	第30回東北総合大会	青森県岩木町
9月 7日	日本体育協会公認指導員義務講習会	仙台市武道館
9月 13日	村山地区高校新人戦	天童高校
9月 20日 ～22日	日本マスターズ空手道競技(第3回)	和歌山県
9月 21日	第36回県空手道選手権大会	飽海地区担当
9月 27日 ～28日	1・2級資格審査員研修会 全国形審判員・競技力向上指導者義務講習会	名古屋市スポーツセンター
9月 28日	第2回東北大学選手権大会・新人戦	大河原町総合体育館
10月 5日	第11回県少年少女交流大会	天童高等学校
10月 26日 ～28日	第58回国民体育大会	静岡県浜松市
11月 1日	県高校総体新人戦	県総合運動公園
11月 9日	第14回県ジュニア選抜選手権大会	県総合運動公園アリーナ
11月 29日	公認6段審査会	東京郵政体育館
11月 30日	公認7段審査会	東京郵政体育館
12月 7日	県連指導員講習会・公認段位審査会(初～三段)	県総合運動公園柔道場
12月 14日	第31回全日本空手道選手権大会	日本武道館

平成16年

1月 23日 ～25日	東北高校選抜大会	須賀川アリーナ
----------------	----------	---------